

ゆいのき ミニ

速報版 1

R2.4.14

室田和宏

はじめまして。4月1日より本校に赴任してまいりました室田和宏と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本来であれば、きちんとした学校便りにて、職員の紹介等お知らせしなければならないところでございますが、このような状況の中、少しでも早く学校の様子をお知らせできればと考え、保護者向けの速報版で「ゆいのき ミニ」を作成し、お知らせすることにいたしました。

TV放送で着任式と始業式！



年度始まりの節目の儀式を体育館で実施できずに残念でしたが、TV放送で例年と違った趣向を凝らして実施してみました。着任式では、6年生の さんが歓迎のことばを述べてくれました。

始業式のおわり、一番楽しみな担任発表。一度別の場所で待機していた担任の先生が、放送の合図で一斉に各教室に入ります。校舎のあちらこちらから、歓声やらどよめきやらいろいろな声が聞こえてきました。サプライズは大成功だったようです。たった1日だったからこそ

内容の濃い1日でした。学校に集まり、仲間とつながり、ともに笑いともに涙しながら過ごす日々が、決して当たり前ではなかったことに気付いたことは、今回のコロナ渦の中での貴重な収穫です。



始業式での話…

2年生から6年生の皆さん、進級おめでとう。皆さんの元気な笑顔を見られて、先生方の顔もみんなニコニコ顔になっています。1年間楽しく頑張りましょう。

・・・中略・・・

先生の話をしします。校長先生は実は「天才！」です。自分で自分のことを「天才」だなんておかしいですよ。天才とはいっても実は「失敗の天才」なのです。本当にたくさんの失敗をしてしまいます。でも、失敗をするたびに「どうしたらいいかな？」と考えなければならないので、そのたびにたくさんのことを知ることができました。そこで皆さんに、今年頑張ってほしいことをお伝えします。それは「失敗を恐れずにチャレンジする」ということです。「学校は失敗するところ」で良いのです。たくさんチャレンジしてください。

ただし、絶対に失敗してはいけないことがひとつあります。それは命です。皆さんの命はひとつしかありませんから「失敗しちゃった」ではすみません。命は心と言ってもよいかもしれません。「自分の心そして友達の手」一番大切にしなければならないものです。命そして心を大切にして、みんなが楽しい、城山中央小学校にしていきましょう。

※ 学校行事の様子はホームページでも紹介しています。そちらも、ぜひご覧ください。

ゆいのき

三二

速報版 2

R 2.4.23

室田和宏

無観客の入学式



ご入学おめでとうございます。いったいどうなることかと不安いっぱいの日を過ごしていましたが、なんとか入学式が挙行できて、本当によかったと思っています。かわいい28名の新入生が、少し大きめのパイプ椅子にちょこんとすわっている姿は。上級生や、楽しみにしていた地域の方々に、この姿をご披露できなかったことが本当に残念でなりません。

入学式の話・・・(1年生との3つの約束をしました)

約束の一つめは、「元気なあいさつをする」。家の人や友達同士、先生方にはもちろんですが、みなさんを、温かく見守ってくださっている地域の方や安全ボランティアの方に、「いつもありがとうございます」という気持ちをこめて「おはようございます」、「こんにちは」と言えるようになりますように。

二つ目の約束は、「自分のことは自分でする」。朝起きて顔を洗ったり、洋服を着たりするのも自分ひとりでやります。ランドセルの中にそろえる教科書やノートや鉛筆も、自分で準備しましょう。それが、小学生になるということです。

三つ目の約束は、「自分を大切にする、ともだちを大切にする」ということです。皆さんの命は何よりも大切なものです。大切に思う気持ちは、どの家でもおなじです。ともだちにやさしくしてあげましょう。そして、交通事故などにあわないよう、きまりをしっかり守るようにしましょう。

保護者の皆様へのお話・・・

学校に入学して、最も変わるのは、自分で学校まで歩き、自分で家に帰ってくること。そこに自立の第1歩があります。交通安全には気を付けて、時間があれば登校、下校の練習をしてみてください。これから成長していくうえで失敗はつきものです。トラブルも必ずおきるでしょう。トラブルなしの学校にしようとは思いません。失敗を乗り越えたとき、トラブルを乗り越えたときに成長があるからです。お互いに、子どもたちが失敗やトラブルを乗り越えるための、手助けができる大人になりましょう。そのためには、ここに集まったお父さんお母さん同士が仲良しになりましょう。何かあった時に「ごめんね」とお互いにわかりあえるような関係づくりを是非。子どもたちもそうですが、お父さんお母さんにとっても6年間共に過ごす仲間がここに集まっているのですから。



ゆいのき ミニ

分散登校がはじまりました



久しぶりに子どもたちの元気な顔が戻ってきました。登下校には職員で立哨指導をしましたが、まごころサポーターさんをはじめ、地域のたくさんの方や保護者の見守りを肌で感じ、大変心強く感じました。

また、まごころハウスの皆様には、今回の急遽始まった分散登校に際しましても、全面的なご協力をいただくことができました。心よりお礼申し上げます。温かな地域で育つ本校の子どもたちは本当に幸せです。

児童の心のケアを スクールカウンセラーと連携して

5月18日にスクールカウンセラーの山崎先生が来校しました。分散登校でやってきた、子どもたちの様子をご覧になりました。そして、こんなアドバイスをいただきました。

「コロナに関しては、一人一人感覚が異なる。そこにコロナ菌があると思っている人、あると思える人、あると思えない人。消毒するのが当たり前・・・何もそこまでなくても・・・。感じるものが感覚によって異なってしまうことが原因で「コロナトラブル」にもなり得る。一人一人の感覚の違いを前提に、それぞれが正直な思いを表現できるような雰囲気と場をつくっていきたい。」感じ方が違って、大人はなんとなく周囲に合わせていくものですが、子どもたちはそうはいきません。ようやく、授業という自己表現の場で、子どもたちが自分の思いを発揮する姿にしっかり寄り添えるように・・・。学習進捗のこともあり気持ちは焦りますが、新しい生活様式の中で、ゆっくりとスタートしてまいります。



【行事変更のお知らせ】

- ・6月10日 授業参観・学級懇談・PTA専門部会→ 中止
- ・7月 1日 自由参観・引き渡し訓練・親子レク → 中止
- ・7月下旬の個人懇談は実施する予定です。詳細は調整がつき次第お知らせいたします。

★教科書展示会★

「令和2年度における教科書展示会」が開催されます。教員や児童生徒の保護者を対象に一般公開されますのでお知らせいたします。

日時：6/3(水)～7/3(金)9:00～17:00 (ただし、土曜日・日曜日は展示を行いません)

場所：河内庁舎B棟2階研修室

ゆいのき ミニ

速報版 4

R2.6.3

室田和宏

いよいよ学校再開！ ～マスクのおはなし～

「先生大変だ！マスクが落ちているよ！」

久しぶりの学校再開、業間の休み時間には子どもたちの元気な声が校庭に響いていました。チャイムの合図で校舎に戻ろうとしたその時「校長先生、大変！マスクが落ちています」そして「みんな、さわらないほうが良いよ」と。

いろいろな思いが頭をよぎりました。かつて、インフルエンザが流行り始める時期になると、マスクの落とし物がとても気になったものでした。落ちていても誰も気にかけることもなく、校内の見回りをしながら「ポイ捨てされたゴミ」を拾ったものです。今や、子どもたちにとっても、マスクが落ちていているということは「大変！」という一大事であり、自衛隊員の見事なマスクの付け外しに関わる報道などからも「むやみにさわらないほうが良いかもしれない」ものとして定着しているのだと。そして一方では、これまでの習慣化から、無意識に親切心で拾ってあげる子もいるでしょう。それもそれで良いのだと思います。その子なりの声かけをしていくことが、私たち大人の役割です。

大人も子どもも、コロナウイルスへの感じ方はそれぞれです。だからこそ「おやっ？」と思うことは人によって違っていて、ストレスを感じることもあるかもしれません。こんな時だからこそ、それぞれの感じ方の違いに視点を当てて、「相手の気持ちを尊重してあげる、相手を思いやる」心を育てる機会にしていくことが大切だと考えています。

もちろん、「衛生面、安全面での指導をしっかりと行う」ことが前提での話です。活動ごとの手洗いを徹底させ、小さい子にはとても難しい周囲との距離感についても、粘り強く身に付けさせていこうと取り組んでいます。保護者の皆様にも、予備のマスクや保管袋の準備など、普段とは異なることでお手数をおかけしていることも多いと思いますが、ご協力をよろしくお願い致します。



給食台の消毒



下校後の消毒



ミニ第2保健室

【行事中止のお知らせ】

- ・9月25日ジュニア芸術祭学校音楽祭→中止
- ・10月29日宇都宮市陸上競技大会→中止

※「学習の遅れは取り戻せるのだろうか？」保護者の皆様の一番の心配事ではないでしょうか。宇都宮市では夏休みを短縮する方針が出されています。校内でもカリキュラムマネジメントを進め、授業時数を洗い出し、計画の再編成を急ピッチで進めています。詳細が定まり次第、お知らせいたします。

ゆいのき ミニ

速報版 5

R2.6.5

室田和宏

城央小創立記念日クイズ〜〜！

- ① 城央小はことしで何才になるでしょう？
しろおうしょう なんさい
- ② ことしの子ども数は231人です。では
こども かず
- ③ 校長先生はこれまでに35人いました。
いちはんおお とき なんにん
一番多かった時は何人くらいいたでしょう？
こうちょうせんせい
- ④ まごころ広場ができたときは「野外教室」とよばれていたそうです。さてこの場所が
ひろば やがいきょうしつ なんねん
つくれたのは、学校がなんさいのときでしょう？
いちばんながく
- ⑤ はじめは、「城山尋常小学東校」という名前でした。そのあと、なん回名前を変えて
しろやまじんしょうしょうがくひがしこう なまえ かい か
いるでしょう
- ⑥ むかし、この学校の校舎も大谷石でつくられていた。ホント？ウソ？
がっこう こうしゃ おおやいし

＜クイズの答え＞

- 1 123才。明治30年（1897）に創立し、今年で123周年になります。
- 2 2271人。大正10年に1088人と初めて1000人の大台に乗り、児童生徒の数は年々増えていきました。昭和20年には2000人を超え、最大の2271人となります。昭和31年に812人と3ケタの人数に戻るようになります。
- 3 何と、25年です。鈴木惣庫校長先生が大正11年度から昭和20年度まで務めておられました。モーレッツ先生と呼ぶにふさわしい大校長先生だったようです。校庭には今でも銅像が立っています。
- 4 80才の時です。創立80周年の記念事業として設営されました。まもなく「まごころ広場」と名前が付いたようです。前ページのヒントは80周年の記念誌から引用したものです。
- 5 4回です。 城山尋常小学東校→城山村立尋常高等小学校→城山村立城山国民学校→城山村立城山中央小学校→宇都宮市立城山中央小学校
- 6 ホントです。今の校舎は昭和63年3月に落成しました。その前はしばらく木造校舎の時代が続きますが、明治43年（1910）から昭和10年（1935）まで校舎面積102坪の大谷石づくりの校舎が使用されていました。

ゆいのき

三二

速報版 6

R2.6.9

室田和宏

PTA 環境整備部の皆さん、ありがとうございました！



6月4日、PTA 環境整備部の皆さんがプール清掃を実施してくださいました。厳しい暑さの中、長時間にわたり作業していただいたおかげで、プールは見違えるようにきれいになりました。

プール使用の期間は7月1日から31日までを予定しています。子どもたちが、とても楽しみにしている水泳学習。①3密になるのを防ぐこと、②タオルは各自が管理すること、③残留塩素濃度を管理し、衛生的な水質を保つこと、④触れることの多い場所は消毒することなど、例年以上に配慮することは多くなりますが、コロナ禍の中でも、

「子どもたちが楽しみにしている夏！」に少しでも近づけてあげたいと考えています。

（夏季休業中の地域等への開放は実施できません。ご了承ください。）

本年度は、眼科検診、耳鼻科検診、内科検診が実施できていません。安全に水泳学習を実施するために、疾病のある場合は早めに専門医を受診していただきますよう、ご協力をお願い致します。水泳学習についての詳細は、あらためて通知を差し上げます。

避難訓練（失敗が許されないこと）

命を守る大切な行事、年度初めの避難訓練。「できるだけ早いうちに避難経路の確認を」と、学校再開間もないのですが、日程や計画を何度も修正して、調整し実施することができました。「おかしもをは守れましたか？命を守ることにについて失敗は許されません。」と子どもたちに話しました。また、学校北側の山斜面が土砂災害警戒区域となっていることから、副校長先生から「崖に水が流れ出したり、小石がパラパラと落ちるなど、いつもと変わったことに気付いたら、土砂災害の前兆かもしれないから気を付ける」よう注意を呼びかけました。年間予定では7月15日に不審者対応の避難訓練を予定していましたが、本年度は研修会の形に変更し、職員のみで行います。いざという時に、学校にいる大人たちの手で、子どもたちを守る適切な対応がとれるよう、心構えと準備を万全にしていきたいと思います。

またまたマスクのはなし（熱中症対策とのジレンマ）

急に気温が上がり、マスクをしているのが苦しくなってきました。でも、子どもたちはしっかりとマスクを身に付けて、コロナウィルスに負けるものかとがんばっています。これまでも、体育の授業はマスクなしで行ってきましたが、加えて「業間や昼休みに外へ遊びに行く場合や、下校時に暑くなった場合は、マスクを外して、熱中症にも気を付ける。」よう指導して、対策をしたいと思います。子どもたちの様子を全職員でよく見守り、臨機応変に対応していくことが、いろいろな場面で重要になってきます。

ゆいのき ミニ

速報版 7

R2.6.29

室田和宏

あいさつ運動（マスクをしながらの新しい生活の中で）

朝、昇降口前で子どもたちを迎えている時、こんなお手紙をもらいました。

「毎朝校門をぬけると、先生が「おはよう」と言ってくれるおかげで笑顔になります。先生の声を聞くと「私もあいさつしなきゃ！」と思います。私の夢は・・・」そして「笑顔は人を元気にするから・・・」とつぶられていました。また、ある子は「先生、ゆいのきミニって、また出してくれるんでしょ」と。少しでも興味を持ってくれていると思うと、とても温かい気持ちになりました。



来週、7月6日からは「地域協議会のあいさつ運動」と「児童会あいさつ運動」が同時にスタートします。ご家庭でも「行っちゃい。気をつけてね」とお見送りをお願いします。私は新顔なので早く顔を覚えてもらおうと、マスクではなく、フェイスシールドをつけて、朝子どもたちをむかえていましたが、みんながそうすることはできません。この時期、マスクをしていて、表情が見えず、気持ちもなかなか伝わりにくいのですが「目は口ほどにものを言い」です。「目で伝える！」でいきましょう。子どもたちが私の顔を見て、私よりも先に声を掛けてくれることが、とても多くなってきました。調子が出てくるお昼近くになるとなおさらで、たくさんの子が廊下で「こんにちは」と明るく声をかけてくれます。私も子どもに負けずに「先に「こんにちは」」を心掛けたいと思います。

学校再開して1か月、保護者の皆様や地域協議会、そして城山地区の皆様の温かい支えを感じることが数え切れないほどありました。そして子どもたちに投げかけようと決めた言葉がひとつできました。

「日本一 まごころ のこもった、あたたかい学校をつくろう！」

まごころ日本一へ、まずはあいさつから！！

自分たちの学校をピカピカに！

P.T.Aやボランティアさんに負けず、子どもたちも学校の清掃頑張っています。朝、困っている1年生を元気づけてあげていたり、休み時間にいっしょに遊んであげていたりする姿をととてもよく見かけますが、清掃時にも上級生が下級生の面倒を見、うまくまとめています。城央小の伝統を感じます。右下は、昇降口があまりにもピカピカだったので思わずパシャリ。（逆光でごめんなさい）



ゆいのき ミニ

速報版 8

R2.7.3

室田和宏

緑の少年団結団式 (TV放送)



「まごころ広場はわたしたち城山中央小学校の児童にとって特別な場所です。遊んだり、運動したり観察したり、学校の活動をする中で欠かせない場所です。……緑の少年団みんなで城山中央小学校の緑化を進めていきましょう。」という挨拶の後、2名の代表が「花の水やりや草むしりなどの活動を通して緑を大切にし、増やしていくことを誓います。」と誓いの言葉を述べてくれました。

私からは次のようなことを話しました。

「緑化委員会のみなさん、ここまでの準備ありがとう。緑の少年団の結団式ができて本当にうれしいで

す。本校の緑の少年団は今年でちょうど40年になります。ところで、緑の少年団って何でしょうか？何のための結団式なのでしょう？先生は、心を育てるための活動への結団だと思っています。心を育てるというのもピンとこないかもしれません。身体が育つと背が伸びたり体重が増えたり、頭が育つとたし算ができるようになったり、難しい本が読めるようになったり。でも、心が育つというのは、なかなか自分だけでは分かりにくいことです……」

緑とふれあい、緑を守り、緑を育てる活動を通して、自然を愛し、人や社会を愛する心豊かな社会人に育てていくことが、緑の少年団の理念です。今年は41代目緑の少年団。あいことばは「まごころ日本一」です。

*** ひとこま (対話を通して深める) ***

新しい生活様式の中で、警戒レベルに応じて、ガイドラインに沿った行動がとれるよう、マスク、手洗い、ディスタンスを粘り強く呼びかけつつ、対話を通して学びを深めるよう各クラスで工夫しています。

【ブランドン先生と交流】

【作戦立ててベースボール】

【間隔とってペアトーク】

